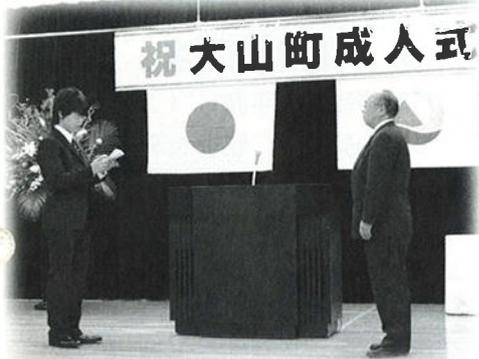


人生の節目に 思うこと ～大山町成人式～

まよういく
通信
教育委員会
☎ 0859-54-5211



成人代表で謝辞を述べる近藤さん



「ふるさと」を合唱しました



久しぶりの再会に笑顔が
こぼれる新成人のみなさん



▲小学生のときに書いた20歳の自分への手紙を見て（大山西小学校卒業生）



▶タイムカプセルに詰まった思い出（庄内小学校卒業生）

新成人のみなさんをお祝いする大山町成人式が、1月7日（日）保健福祉センターなわで開かれました。昭和61年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた243人の新成人のうち、191人が参加しました。

町長ほか来賓の方々からのお祝いと激励の言葉を受け、新成人を代表して近藤健太郎さん（赤松）が「人生の節目にあたり、今まで私たちに愛情を注ぎ育ててくれた家族、見守ってくださった地域の皆さまへの感謝の気持ちを胸に、私たち一人一人の希望の実現に向かって一歩ずつ歩んでいきたい」と謝辞を述べました。

来賓の中には、中学校3年生のときの担任の先生が勢ぞろい。卒業生の成長ぶりに驚いている様子でした。式典後、小学校卒業時に埋めたタイムカプセルを開けて、当時の日記や習字を取り取り懐かしむ姿や、久しぶりに出会った友人と話をしたりと、楽しい雰囲気にも包まれました。

今年の新成人は大山町の人口の約1%。精鋭たちのこれからの活躍を期待します。

（新成人のインタビューは裏表紙をご覧ください）

243人の新成人